

# 尾張西三河森林計画区

## 第四次国有林野施業実施計画書

計画期間 自 平成23年 4月 1日  
至 平成28年 3月31日

中部森林管理局

この国有林野施業実施計画（以下「本計画」という。）は、国有林野管理経営規程に基づき、国有林の地域別の森林計画及び地域管理経営計画に即し、森林管理局長が森林計画区域内の管理経営する国有林野の箇所別の伐採、更新等について5年ごとにたてる5年間の計画である。

この本計画の計画期間は平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間である。

## 目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域	1
2	施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
	(1) 伐採造林計画簿	1
	(2) 水源かん養タイプにおける施業群別面積等	1
	(3) 水源かん養タイプの施業群別の上限伐採面積	1
	(4) 生産群別の面積等	1
	(5) 標準伐採量	1
	(6) 伐採総量	2
	(7) 更新総量	3
	(8) 保育総量	3
3	林道の整備に関する事項	4
4	治山に関する事項	5
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	5
	(1) 保護林の名称及び区域	5
	(2) 緑の回廊の名称及び区域	5
6	レクリエーションの森の名称及び区域	6
7	その他必要な事項	12
	(1) 施業指標林、試験地等	12
	(2) フィールドの提供	13

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域  
国有林野施業実施計画図による。

2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所  
ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源かん養タイプにおける施業群別面積等  
該当なし。

(3) 水源かん養タイプの施業群別の上限伐採面積  
該当なし。

(4) 生産群別の面積等

(単位：ha、年)

生産群	面積	生産目標等	伐期齢
優良柱材	28.91	無節柱材	50
一般用材	26.26	一般用材	55
合計	55.17		

(注) 林地以外の土地の面積は含まない。

(5) 標準伐採量

当該計画区の資源の循環利用林はすべて分収造林契約に基づく分収造林及び分収育林契約に基づく分収林であるため標準伐採量は定めない。

## (6) 伐採総量

(単位：m<sup>3</sup>、ha)

区 分		林 地					林 地 以 外	合 計
		主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐 採 量	計		
水 土 保 全 林	国 土 保 全 タ イ プ		(63.74) 8,528	8,528				
	水 源 か ん 養 タ イ プ	小面積分散伐区枝打						
		小面積分散伐区						
		長 伐 期						
		カラマツ長伐期						
		人工林長伐期複層伐						
		人工林複層伐						
		人工林漸伐複層型						
		人工林択伐複層型						
		そ の 他						
	小 計		(63.74) 8,528	8,528				
計		(63.74) 8,528	8,528					
森 林 と 人 と の 共 生 林	自 然 維 持 タ イ プ							
	森林空間利用タイプ		(104.94) 7,873	7,873				
	計		(104.94) 7,873	7,873				
資 源 の 循 環 利 用 林	優 良 柱 材	6,227		6,227				
	一 般 用 材							
	計	6,227		6,227				
合 計		6,227	(168.68) 16,401	22,628	3,572	26,200	26,200	
年 平 均		1,245	(33.74) 3,280	4,526	714	5,240	5,240	

(注) ( ) 書きは間伐面積である。

## (7) 更新総量

(単位：h a)

区 分		水 土 保 全 林			森 林 と 人 と の 共 生 林			資 源 の 循 環 利 用 林	合 計
		国 土 保 全 タ イ プ	水 源 か ん 養 タ イ プ	計	自 然 維 持 タ イ プ	森 林 空 間 利 用 タ イ プ	計		
人 工 造 林	単 層 林 造 成							11.71	11.71
	複 層 林 造 成								
	計							11.71	11.71
天 然 更 新	天 然 下 種 第 1 類								
	天 然 下 種 第 2 類								
	計								
合 計								11.71	11.71

## (8) 保育総量

(単位：h a)

区 分		水 土 保 全 林			森 林 と 人 と の 共 生 林			資 源 の 循 環 利 用 林	合 計
		国 土 保 全 タ イ プ	水 源 か ん 養 タ イ プ	計	自 然 維 持 タ イ プ	森 林 空 間 利 用 タ イ プ	計		
下 刈								18.36	18.36
つる切		13.65		13.65					13.65
除 伐		17.94		17.94		6.53	6.53		24.47
枝 打									

## 3 林道の整備に関する事項

(単位：m)

基幹・その他別	開設・改良別	路線名	林班・箇所	延長	備考
基幹	改良	栃洞金沢（金沢）	1274, 1275 2箇所	20	
		計	2箇所	20	
その他	開設	荷揚平	1093, 1095~1097	2, 200	
	改良	栗大八	栖 1008~1013 2箇所	50	
			平 1020~1023 4箇所	200	
			曾 1030, 1044~1047, 1061 3箇所	300	
		荷揚平	1086, 1088, 1096, 1098 2箇所	200	
			旭 1174, 1175 1箇所	200	
		盆地	沢 1199~1202 2箇所	50	
			苧 1199, 1200, 1202, 1204~1209, 1211~1214 5箇所	500	
		金沢支線	1274~1278 5箇所	20	
		計	24箇所	1, 520	
合計	開設	1		2, 200	
	改良	9	26箇所	1, 540	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

#### 4 治山に関する事項

(単位：保全施設 箇所、保安林の整備 ha)

位 置	区 分	工 種	計 画 量
御内蔵連 2 ・ 男川 1 ・ 男川 2 ・ 八曾 3 ・ 犬山 1 ・ 犬山 2	保 全 施 設	溪 間 工	6
御内蔵連 2 ・ 八曾 3 ・ 犬山 4	保 全 施 設	山 腹 工	3
小原 5	保 全 施 設	そ の 他 (管理道)	1
尾張西三河計画区管内の保安林区域内	保 安 林 の 整 備	保 育 外	168.83
	保 全 施 設	溪 間 工	6
		山 腹 工	3
		そ の 他	1
	保 安 林 の 整 備	保 育 外	168.83

(注) 1 保全施設の計画量「箇所数」は「単位流域」数を表す。

2 位置は単位流域を表す。

3 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

#### 5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

##### (1) 保護林の名称及び区域

該当なし。

##### (2) 緑の回廊の名称及び区域

該当なし。

## 6 レクリエーションの森の名称及び区域

(単位：ha)

種 類		自 然 休 養 林			
名 称	新・改 既 設	面 積	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施 業 等
犬山・ 八 曾	既設	1,131.16	付表1のとおり	<p>飛騨木曾川国定公園内にあり、日本ラインを望む犬山地区は、起伏に富んだ岩山とマツなどの森林が一体となり優れた景観を呈しており、自然探勝等に適している。</p> <p>また、八曾地区は野営場、釣堀等が設置されており、都市部における身近な森林レクリエーションの場として適している。</p>	付表1のとおり
定光寺	既設	714.66	付表2のとおり	<p>愛知高原国定公園内にあり、シイ、カシ等の天然林、ヒノキ・スギ人工林等変化に富んだ林相を呈し、史跡・名勝と一体となって潤いのある自然景観を構成している。</p> <p>野営場、見本林、多目的広場等が設置されており、自然観察、森林内に休養活動の場として適している。</p>	付表2のとおり
面 積 計		1,845.82			

(単位：ha)

種類		風 致 探 勝 林				
名称	新・改 既設別	面積	位置 (林小班)	選 定 理 由	施 業 等	
間 苺	既設	81.66	1199い、に 1200い、は、へ、 と、る、か 1201と、ぬ 1202い、ほ、と、ち 1203と～る 1204ろ、1205ろ 1206ち、り 1207へ、1208は 1209ろ、と、わ、 か、た 1210は、に、と、ち 1211い～に、と、 ぬ、1212い、る、わ 1213ろ、に、り、か ～た、そ～ね 1214い、は、に、る	本宮山県立自然公園内にあり、明治時代植栽のスギ、ヒノキとその中に点在するカシ、カエデ等が優れた渓谷美を呈している。また、稜線部には県道本宮山白鳥線（旧本宮山スカイライン）が通っており、富士山、南アルプス連峰の遠望、三河湾を眼下に見下ろす広大な眺望が優れ、風致探勝の場として適している。	スギ・ヒノキの人工林を主体とする林分で構成されている。ヒノキ人工林等の壮齢林以上の林分については、間伐等を行い大径木の森へ誘導する。その他の人工林については、林内に混入している広葉樹を保残し、針広混交化に誘導する。アカマツ等の天然林については、原則として自然の推移に任せることとする。人工林・天然林ともに、必要に応じて展望地等の修景施業を行うこととする。林道沿線については、景観に配慮しつつ、沿線のカエデ類の保護を目的とした修景施業を行うこととする。キャンプ場等の施設周辺については、見た目がすっきりとした明るい環境作りを心がけ、常緑樹等の下層木の整理を行うこととする。	育成複層林施業
			1208に、1209は 1211る			天然生林施業
			1200ロ 1206ハ、ニ 1207イ、ロ 1208イ、ロ 1209イ、ロ、ニ 1210イ、ロ、ハ 1211イ 1213イ、ロ 1214イ、ハ、ニ			林地以外
面積計		81.66				

付表 1

## 犬山・八曾自然休養林のゾーン区分別の林小班及び施業等一覧表

(単位：h a)

ゾーン区分	面積	関係林小班	施業等	
自然観察教育ゾーン	103.15	1020い、ろ、1021い～ほ、1022い～へ、 1023い～は、ほ、へ、1024い～に、1025い、 ろ、1026い ----- 1023に、1025は、に、1026ろ、は ----- 1020イ、ロ、1022イ、1023イ、ロ、1024イ、 1025イ、1026イ、ロ、ハ	クロマツ、ヒノキの人工林を主体とする林分で構成されている。 人工林については、林内に混入している広葉樹を保残し、針広混交林に誘導する。 アカマツ等の天然林については、原則として自然の推移に任せることとする。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 林地以外
風景ゾーン	507.85	1004ろ、は、1005い～は、1006ろ、は、 1007ろ～へ、1008い～に、1009い～に、 1010い～に、1011い、1012い～は、1013 い～ほ、1014い、ろ、1015ろ～に、1016い ～は、1017ろ～へ、1018ろ～ほ、1064い ～ち、1065い～に、1066い、1067い、ろ、 1068い～ぬ、1069い～ち、1070い～ほ、 1071い～に、1072い～に、へ、と、1073い ～ほ、1074い、1075い ----- 1001い、1002い、1003い、ろ、1004に、 1005に、ほ、1014は、1015い、1017い、 1018い、1019い、1072ほ、1075ろ ----- 1003イ、1006イ、1008イ、ロ、1010イ、 1011イ、1015イ、1016イ、1017イ、1068 イ、1073イ、1074イ、ロ、1075イ	クロマツ、ヒノキを主体とする人工林及びアカマツ等の天然林により構成されている。 人工林については、林内に混入している広葉樹を保残し、針広混交林に誘導する。 アカマツ等の天然林については、原則として自然の推移に任せることとする。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外
風致探勝ゾーン	520.16	1003い～へ、1031い～に、1032い、ろ、 1035い～は、1036い～に、へ、1039い、 1041い、1042い～に、1043い～は、1044 い～へ、1045い～に、1046い～に、1047 い、は～ち、1048い～へ、1049い、1050い、 1051い、1052は、に、1053は、に、と、1054 い、1055い～り、1056い～は、と、1057い、 ろ、1058い～に、1059い、1060い～へ、 1061い～と、1062い～に、へ、ち、り、1063 い～ち ----- 1036ほ、1047ろ、1052い、ろ、1053い、ろ、 ほ、へ、1056に～へ、1057は、に、1062ほ、と、ぬ ----- 1031イ、1032イ、1036イ、ロ、1039イ、 1041イ、1043イ、ロ、1044イ、1045イ、	ヒノキ、アカマツ、クロマツを主体とする人工林及びアカマツ等の天然林により構成されている。 ヒノキ人工林等の壮齢林以上の林分については、間伐等を行い大径材の森へ誘導する。 その他の人工林については、林内に混入している広葉樹を保残し、針広混交林に誘導する。 アカマツ等の天然林については、原則として自然の推移に任せることとする。 人工林・天然林ともに、必要に応じて展望地等の修景施業を行う	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外

(単位：h a)

ゾーン区分	面積	関係林小班	施業等
		1049イ、1050イ、ロ、1051イ、1054イ	こととする。 また、キャンプ場等の施設周辺については、見た目がすっきりとした明るい環境作りを心がけ、常緑樹等の下層木の整理を行うこととする。

付表 2

## 定光寺自然休養林のゾーン区分別の林小班及び施業等一覧表

(単位：ha)

ゾーン区分	面積	関係林小班	施業等	
自然観察教育	423.27	1076に、1078い、は～ほ、と、1084ろ、に、 1085は、1086い～へ、1087ろ、は、1090 ろ、1091に、ほ、1093ろ、は、ほ～か、1094い ～に、1095ろ～ほ、1096い～ほ、1097い ～へ、1098い～は、1099い～ほ、1099い ～ほ、1100い～へ、1101い、ろ、1102い、ろ、 1103ろ、ほ、1104い、1105ろ、1106ろ～へ	<p>ヒノキ・クロマツ等の人工林及びアカマツ等の天然林により構成されている林分である。</p> <p>人工林については、林内に混入している広葉樹を保残し、針広混交林に誘導する。</p> <p>アカマツ等の天然林については、原則として自然の推移に任せることとする。</p> <p>東海自然歩道沿いの林分については、景観に配慮しつつ下層木のシイ・カシ類の常緑樹を整理し、コナラ・アベマキ等の見通しのよい落葉樹林を主とした林分への修景施業を行うこととする。</p>	育成複層林施業
		1076い～は、1077い、ろ、1078ろ、へ、 1079い、ろ、1080い、1081い、1082い、 1083い、1084い、は、1085い、ろ、に、1087 い、1088い～は、1089い、1090い、1091い ～は、1092い、1093い、に、1095い、1103 い、は、に、1105い、1106い		天然生林施業
		1076イ、1077イ、1078イ～ハ、1084イ、 ロ、1085イ、ロ、1086イ、1087イ、1088イ、 1096イ、1097イ、1098イ、1099イ、1103イ		林地以外
風景ゾーン	99.12	1111い、ろ、1112は～ほ、1113は、1120い ～ほ、1121い～へ、1122い、ろ、に～ぬ 1112い、り～る、1122は	<p>ヒノキ・クロマツ等の人工林及びアカマツ等の天然林により構成されている林分である。</p> <p>人工林については、林内に混入している広葉樹を保残し、針広混交林に誘導する。</p> <p>アカマツ等の天然林については、原則として自然の推移に任せることとする。</p>	育成複層林施業
		1111イ、1120イ～ハ、1121イ、ロ、1122イ		天然生林施業
				林地以外
風致探勝ゾーン	192.27	1107い～は、1108い、ろ、1109い～か、 1110い、ろ、に、1112ろ、へ～ち、わ、か、 1113い、ろ、に～る、1114い～わ、1115い ～と、1116い、ろ、ほ、へ、ち、1118い～ほ、 1119い～へ、ち～そ	<p>ヒノキ・クロマツ等の人工林を主とした林分により構成されている。</p> <p>ヒノキ人工林等の壮齢林以上の林分については、間伐等を行い大径木の森へ誘導する。</p> <p>その他の人工林については、林内に混入している広葉樹を保残し、針広混交林に誘導する。</p> <p>アカマツ等の天然林については、原則として自然の推移に任せることとする。</p>	育成複層林施業
		1110は、1116は、に、と、1119と		天然生林施業
		1107イ、1108イ、ロ、1109イ、ロ、1113イ、 ロ、1114イ～ハ、1115イ、ロ、1116イ～ホ、 1117イ～ニ、1118イ、ロ、1119イ		林地以外

(単位：h a)

ゾーン区分	面積	関係林小班	施業等
			<p>人工林・天然林ともに、必要に応じて展望地等の修景施業を行うこととする。</p> <p>また、キャンプ場等の施設周辺については、見た目がすっきりとした明るい環境作りを心がけ、常緑樹等の下層木の整理を行うこととする。</p>

7 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

(単位：h a)

種 類	名 称	設定年	面 積	位 置 (林小班)	備 考
施業指標林	間伐間伐推進施業指標林	S 62年度	1.39	1204い	市場価値の高い材木を収穫する間伐及び残存林木の成長の推移を観察し、今後の間伐技術の向上の指標になる林分である。
次代検定林	関名24号	S 62年度	0.76	1274へ内	精英樹相互間の人工交配によって得られる交配家系の生育結果から、各形質の遺伝様式を検定するための林分である。
遺伝子保存林	スギ	S 46年度	0.75	1200か	林木育種事業を計画的能率的に実施するため、現存する林木の優良遺伝子群を確保・保存し、遺伝子補給源として活用する林分である。
	スギ	S 39年度	2.35	1205か	同 上
精英樹保護林	スギ岡崎2号	S 31年度	0.25	1212か	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを保護・保存するための林分である。

## (2) フィールドの提供

## ア ふれあいの森

(単位：ha)

名 称	面積	位 置	設 定 の 目 的 等
犬山ふれあいの森 (平成13年度設定)	36.07	1049い、1050い	協定相手方：犬山市アメニティー協会 協定年度：平成17年度 目 的 ボランティア団体による自主的な森林整備活動の場を提供するため設定した。
定光寺NCFCの森 (平成17年度設定)	20.26	1102い、1106い～へ、1107い	協定相手方：名古屋シティ・フォレストスター倶楽部 協定年度：平成17年度 目 的 ボランティア団体による自主的な森林整備活動の場を提供するため設定した。
計	56.33		

## イ 遊々の森

(単位：ha)

名 称	面積	位 置	設 定 の 目 的 等
みんなの森 (平成15年度設定)	36.07	1049い、1050い	協定相手方：犬山市立今井小学校 犬山市アメニティー協会 協定年度：平成17年度 目 的 国有林の豊かな森林環境を提供して、様々な自然体験や自然学習を進めていくため、地元小学校等と協定を締結し、「遊々の森」を設定した。
神明の森 (平成15年度設定)	2.10	1076ろ	協定相手方：瀬戸市立掛川小学校 協定年度：平成17年度 目 的 国有林の豊かな森林環境を提供して、様々な自然体験や自然学習を進めていくため、地元小学校と協定を締結し、「遊々の森」を設定した。
計	38.17		